

# 平成25年度9月補正予算の概要及び主要施策

## I 9月補正予算（一般会計）「3億円」を計上

旧豊平南・西・東小学校校舎等解体工事による小学校統廃合に伴う整備の推進及び6月梅雨前線豪雨による災害復旧工事の実施等、新たに緊急性かつ必要性の認められる事業を実施するため、一般会計では3億円の補正予算を編成する。

《平成25年度一般会計予算》

◇当初予算（骨格）	150億7,000万円	（対前年度▲8,000万円 ▲0.5%）
◇6月補正予算（肉付）	8億8,500万円	
◇7月補正予算	240万円	
◇8月補正予算	0万円	（債務負担行為額の変更）
<b>9月補正予算 3億円</b>		
予算総額	162億5,740万円	（対前年度同月9億1,440万円 6.0%）

（参考）前年度同月：153億4,300万円

《補正予算編成上のポイント》

- 旧豊平南・西・東小学校校舎等解体工事及び大塚地区集会所新築工事など、小学校統廃合に伴う整備の推進
- 道の駅出張産直出荷補助事業及び神楽公演補助事業など、道の駅活性化対策の推進
- 地域の声をくみあげる仕組みづくりなど地域協議会への支援を通じた地域づくりの推進
- 6月発生 of 梅雨前線豪雨による災害復旧工事の早期実施

## II 9月補正予算の規模等

### 1 歳入歳出規模

（単位：万円、%）

区 分	当初予算額 A	前回補正額 B	9月補正額 C	累計額 D (A+B+C)	対当初予算比 D/A	
一般会計	1,507,000	88,740	30,000	1,625,740	107.9	
特別会計	国民健康保険	226,000	400	▲200	226,200	100.1
	下水道事業	77,200	400	▲500	77,100	99.9
	農業集落排水事業	35,100	150	▲50	35,200	100.3
	介護保険	255,200	1,300	1,460	257,960	101.1
	簡易水道事業	30,600	600	0	31,200	102.0
	電気事業	4,590	—	370	4,960	92.5
	芸北財産区	50	—	—	50	100.0
	診療所	17,700	—	▲60	17,640	99.7
	情報基盤整備事業	56,000	600	—	56,600	101.1
	後期高齢者医療	29,000	—	200	29,200	100.7

※前回補正額は、6月・7月・8月補正予算額を示す。

Ⅲ 平成25年度9月補正予算「主要施策等一覧表」 ※1~4：事業説明資料の添付

1 一般会計

●町民の立場に立ち、町民と共に進めるまちづくり 51万円		補正額(万円)	予算書(頁) 一般会計
合併10周年記念事業	・合併10周年記念事業実行委員会委員報酬等 (委員⇒15人に対する報酬等)	51	4
●地域の特性を生かした地域づくり 5,263万円			
コミュニティ振興対策事業 ※1-1	・地域協議会の充実支援(地域協議会委員報酬等)	117	4
25年災害復旧事業※1-2	・農林水産施設H25災害(芸北・千代田・豊平) ・公共土木施設H25災害(芸北)	4,266	28
生活用水取水施設整備事業	・生活用水取水施設整備補助金の追加 (18件分を追加・年間見込額 40件)	880	10
●産業・経済の活性化 3,697万円			
舞ロード千代田管理事業 ※2	・道の駅出張産直出荷補助金	300	18
商工振興対策事業	・商工会補助金の追加(特産品開発事業・人材育成支援事業)	100	16
企業誘致等事業	・企業立地奨励金の追加(太陽光発電整備に伴う設備取得奨励金など11社分)	3,297	16
●若者・子育て世代に魅力的なまちづくり 2億2,625万円			
乳児医療費支給事業	・乳児医療費支給システム改修委託費(中学校までの医療費無料化に伴うシステム改修費)	208	8
地域集会所管理事業 ※3-1	・大塚地区集会所新築工事	3,328	2
小学校管理事業※3-2	・旧豊平南・西・東小学校校舎等解体工事	19,089	24
●郷土芸能・文化財・自然などを生かした観光の戦略化 165万円			
観光振興対策事業※4	・神楽公演補助金 ・北広島町神楽協議会補助金	165	18

●その他 ▲2,554万円		補正額(万円)	予算書(頁)
職員給与費関係	・普通交付税減額に伴う給与費減額及び職員人事移動に伴う調整	▲3,607	2・6他
予備費	・緊急時支出対応、補正調整ほか	1,222	31

## 地域協議会への支援を通じた地域づくり事業

## ( 地 域 協 議 会 委 員 報 酬 等 )

## 1 事業目的

現状では地域協議会（4地域）の委員の活動に対して報酬及び費用弁償の交付がなく、兼ねてから各協議会や町議会からも指摘を受けているところである。今後の地域協議会の活発な活動（会議開催等）を促進するためにも非常勤特別職報酬条例（その他の委員）等の規定に基づき報酬等を交付するものである。

## 2 事業概要

平成18年度に旧町単位で設立された地域協議会は、住民自治の確立と行政との協働体制で魅力あるまちづくりの主体となり、住民の声を行政に届け、行政と住民との協働のまちづくりをしていく組織として設置された。現在の主な活動内容として、町からの交付金を利用し、イベントの開催、敬老会開催助成、道路河川清掃費助成、要望のとりまとめなどを実施してきた。

この度、新町長体制のもと政策判断をするうえで「町民の声を聞く」「町への政策提言」という役割を地域協議会に担っていただくため、定期的に会議等を開催し協議する場を設ける。

## 3 事業内容

地域協議会の会議（予定） ○4地域×3回（10月～3月）×半日分として

・報酬

- ① 芸北地域・・・21名×3回×（6,300円÷2）＝198,450円  
 ② 大朝地域・・・32名×3回×（6,300円÷2）＝302,450円  
 ③ 千代田地域・・・27名×3回×（6,300円÷2）＝255,150円  
 ④ 豊平地域・・・27名×3回×（6,300円÷2）＝255,150円 **計 1,011,150円**

・費用弁償

- ① 芸北地域・・・21名×3回×（500円）＝31,500円  
 ② 大朝地域・・・32名×3回×（500円）＝48,000円  
 ③ 千代田地域・・・27名×3回×（500円）＝40,500円  
 ④ 豊平地域・・・27名×3回×（500円）＝40,500円 **計 160,500円**

## 4 地域協議会の現況等

項目\協議会名	芸北地域振興協議会	大朝地域協議会	千代田地域づくり協議会	豊平地域自治振興会
会 長	山根 清吾	大下 俊幸	榎畑 隆司	勘坂 征和
支部数	7	7（一部未）	8	13
委員数	21	32	27	27
人 口	2,508人	3,036人	10,433人	3,813人
集落数	42	48	68	116
活動内容	敬老会助成、芸北高原秋まつり開催、美化活動、振興会活動支援等	環境整備事業、敬老会助成、ふるさとまつり開催、ふれあい交流事業、連合会助成等	敬老会助成、千代田祭り開催、道路河川清掃、振興会活動支援等	地域づくり事業、敬老会助成、そばまつり開催、道路河川清掃等事業等
主な内部組織	総務・文教部会、産業部会、保健福祉部会	総務部会、地域振興部会	会報委員会、研修委員会	総務部会、文教部会、保健福祉部会、産業振興部会
会 報	—	「地域協議会だより」年1回	「ちよだ」年2回	「豊平地域自治振興会だより」年2回
交付金額（H25年度）	4,011千円	4,532千円	7,275千円	7,032千円

※9月補正財源内訳 一般財源 1,172千円

## 平成25年度「公共、農林土木」災害復旧事業

## 1 概要

平成25年6月18日～22日（公共土木災害）、19日～20日（農林土木災害）に発生した、梅雨前線豪雨による災害による、災害復旧工事費等について補正。

補正額 42,659千円

## 2 災害復旧事業費内訳

○公共土木災害	道路災害	5箇所・・・	33,710千円
	河川災害	1箇所・・・	1,500千円
	事務費	・・・	500千円
	合計		35,710千円

## ○災害復旧工事地区

地区	内容	箇所
芸北地区	道路災害	5箇所
芸北地区	河川災害	1箇所

## ※9月補正財源内訳

国支出金 19,548千円・地方債 15,400千円・一般財源 762千円

○農林土木災害	農地災害	5箇所・・・	6,799千円
	事務費	・・・	150千円
	合計		6,949千円

## ○災害復旧工事地区

地区	内容	箇所
芸北地区	農地災害	1箇所
千代田地区	農地災害	2箇所
豊平地区	農地災害	2箇所

## ※9月補正財源内訳

県支出金 3,400千円・地方債 2,700千円・分担金 340千円  
一般財源 509千円

## 道の駅出張産直出荷補助金

## 1 事業の概要

道の駅の出張産直事業については町直営事業として実施していたが、10月以降、きたひろ市場による事業継続のため、採算ベースに見合う販売手数料の改定（引き上げ）が必要となる。これに伴い、道の駅店舗と出張産直での販売手数料率の差が発生するため、今年度に限り、出張産直での手数料と道の駅店舗での手数料と差額を出荷者協議会に補助し、事業を継続する。

次年度以降については、事業内容の見直し等も含めて検討をしていく。

## 2 事業効果・目的

出張産直にかかる手数料率の引き上げへの対応により、道の駅出荷者の負担の公平性を確保する。

## 3 事業内容

## (1) 補助対象者

舞ロードIC千代田出荷者協議会に会員登録した者、かつ出張産直事業用に農林産物等を出荷する者。

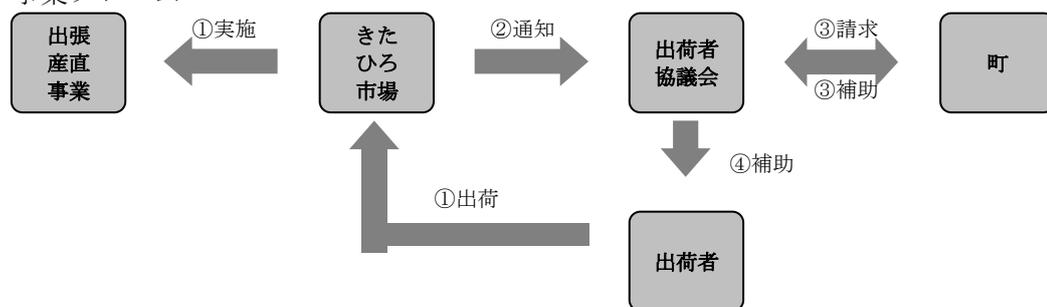
## (2) 補助金額

3,000千円を上限として交付する。

## (3) 事業期間

平成25年10月1日から平成26年3月31日（今年度限り）

## (4) 事業フレーム



①きたひろ市場は、適正な手数料率により事業を実施する。

②きたひろ市場は、適正な手数料率から道の駅店舗での手数料率を差し引いた率により算出した額を、出荷者協議会に通知する。

③町は、出荷者協議会からの請求により補助金を交付する。

④出荷者協議会は、補助対象者に対し、補助金を交付する。

⑤安定した出張産直事業の執行を図るため、概算払いを可能とする。

※9月補正財源内訳 一般財源 3,000千円

## 大塚地区集会所新築工事

## 1 事業目的

大塚小学校廃校に伴い、老朽化し耐震強度の無い旧校舎を解体した。旧校舎は、地域コミュニティ施設としての機能を有していたため、その代替施設として跡地に新施設を建設する。

## 2 事業内容

## ○集会施設

木造平家建て 延床面積 198.7 m<sup>2</sup>

平成22年3月の休校から、地元大塚連合会と学校跡地・跡施設利用についての意見交換会を重ねてきた。地元の要望は、地域の活動拠点と地域防災組織の拠点として校舎を改修することだったが、平成23年6月に行った耐震診断により昭和23年建築の木造平家建校舎の耐震強度は極端に低く、補強改修に莫大な費用を必要とすることから、校舎解体による跡地活用で承諾を得た。

解体後の跡地に、これまで旧校舎が担っていた地域住民の活動の場と地域要望にあった地域防災組織の拠点施設整備のため、新施設を建築する。

## 3 事業費

○大塚地区集会所新築工事	33,280,000円
<b>合計</b>	<b>33,280,000円</b>

## 4 財源内訳

○財源：起債（合併特例事業債）	31,600千円
一般財源	1,680千円

## 5 事業スケジュール（H25.10～）

事 項	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	備 考
設計監理業務委託	随契	→							
集会所新築工事	入札	→							竣工

※9月補正財源内訳

地方債 31,600千円・一般財源 1,680千円

## 豊平地域旧 3 小学校解体

## 1 目的

平成 24 年度末をもって閉校とした豊平地域の 3 小学校は、いずれも施設の耐震性に課題を有している。

地域からは、現小学校施設の解体については理解が得られたこと、また、豊平小学校新築事業の一部として、解体事業費が文部科学省の補助金適用期間となるため、今年度末までに、解体撤去することとする。

## 2 各学校の I s 値の状況等

学 校 名	校 舎	体育館	備 考
豊平南小学校	0.3	0.24	
豊平西小学校	0.48	0.24	豊平小仮校舎として 9 月末まで使用
豊平東小学校	0.36	0.55	

○ I s 値とは

建物の構造的な耐震性能を評価する指標。I s 値が大きいほど耐震性が高い。

○ I s 値の目安

0.3 未満：大規模な地震に対して、倒壊または崩壊する危険性が高い。

0.3 以上～0.6 未満：大規模な地震に対して、倒壊または崩壊する危険性がある。

## 3 事業費・財源内訳

(単位：m<sup>2</sup>・千円)

学 校 名	合計面積	事 業 費	国庫補助金	一般財源
豊平南小学校	2,699	68,015	93,436	97,454
豊平西小学校	2,538	63,958		
豊平東小学校	2,338	58,917		
合 計		190,890	93,436	97,454

○面積については、校舎、体育館、プール等を含めた数値。

○国庫補助金については、平成 24 年度交付時申請時に算入済。

## 4 スケジュール

H 2 5 . 8 下旬 解体業務設計入札、契約

H 2 5 . 1 1 月上旬 解体業務設計終了

H 2 5 . 1 2 月上旬 解体工事入札、契約

H 2 5 . 3 中旬 解体工事完了

○解体後の跡地活用計画については、地元との協議を継続していく。

※ 9 月補正財源内訳

国支出金 93,436 千円・一般財源 97,454 千円

## 北 広 島 町 神 楽 振 興 対 策 事 業

## (神楽公演補助金及び北広島町神楽協議会補助金)

## 1 目 的

北広島町内全域で古くから幅広い世代で取り組まれている神楽を継承・発展させ、神楽という多くの住民が関わる農耕文化資源を通して、住民が誇りと自信を持ち、元気な地域を創生することを目的とする。

## 2 事業概要

## (1) 神楽振興計画策定

北広島町内の神楽団の活動状況や課題を整理し、今後の神楽の振興施策を具体化する。

## 【調査項目】

- ① 神楽団の概要 ② 神楽団の活動状況 ③ 現在の課題及び将来的な課題  
④ 課題解決に向けた提案 ⑤ 神楽振興に向けた事業提案 等

## 【神楽振興計画策定】

調査事業を整理した後、定期的な北広島町神楽協議会役員会を開催し、神楽振興計画を作成。

## (2) 情報発信事業

神楽公演スケジュールパンフレット製作

内 容：各神楽団が町内上演する神楽のスケジュールを取りまとめ、パンフレットに掲載し情報発信する。

仕 様：A3版 カラー

第1版（平成25年10月～平成26年3月） 10,000部

第2版（平成26年4月～平成26年9月） 10,000部

## (3) 神楽公演支援事業

北広島町神楽協議会が行う、道の駅舞ロードIC千代田における神楽公演に対して助成を行う。(H25年11月～H26年3月 5回公演予定)

## 3 平成25年度9月補正予算内訳額 (単位：千円)

事業名	予算額	摘要
○北広島町神楽協議会補助金	1,000	
神楽振興計画策定	(500)	神楽現況調査及び振興計画策定
情報発信事業	(500)	神楽公演スケジュールパンフレット製作
○道の駅舞ロード神楽公演事業補助金	650	130千円×5回
神楽公演支援事業		
合 計	1,650	

※9月補正財源内訳 一般財源 1,650千円